



KOMERI

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年7月28日

上場会社名 株式会社コメリ

上場取引所 東

コード番号 8218 URL <https://www.komeri.bit.or.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 捧 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員  
経営企画室ゼネラルマネージャー (氏名) 早川 博 (TEL) 025 (371) 4111

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	111,805	15.8	12,411	74.3	12,414	73.1	8,512	76.0
2020年3月期第1四半期	96,524	1.0	7,118	0.1	7,171	1.8	4,836	2.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 8,712百万円 (63.7%) 2020年3月期第1四半期 5,321百万円 (9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2021年3月期第1四半期	円 銭 171.18	円 銭 -
2020年3月期第1四半期	95.48	95.36

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	344,034	189,656	55.1
2020年3月期	331,140	181,990	55.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 189,656百万円 2020年3月期 181,990百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	21.00	-	21.00	42.00
2021年3月期	-				
2021年3月期(予想)		21.00	-	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	185,000	△0.6	12,000	△6.1	12,100	△6.3	8,150	△6.1	163.88
通期	353,000	1.3	19,000	2.9	19,100	2.6	11,300	△5.4	227.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	54,409,168株	2020年3月期	54,409,168株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,677,243株	2020年3月期	4,677,174株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	49,731,956株	2020年3月期1Q	50,652,406株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「役員株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期1Q 120,000株、2020年3月期 120,000株、2020年3月期1Q 一株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の影響により、景気動向は急激な悪化を示しております。政府による緊急事態宣言解除後も感染症収束時期が見通せない状況が続いており、持ち直しには、相当な時間がかかることが予想され、厳しい経営環境下におかれています。

小売業界におきましても、政府や各自治体による外出自粛要請や休業要請などにより、消費者心理は冷え込み、個人消費は、低調に推移いたしました。また、感染症下で余儀なくされた在宅勤務の推奨などによる巣ごもり需要やインターネット購入の拡大など、個人の消費行動やライフスタイルに大きな変化が生じました。

このような状況のなか、当社グループは、環境の変化に対応し社会的インフラとしての役割を果たすべく、お客様の生活必需品のみならず農家様への農業資材や工務店様への建築資材などの供給に努めてまいりました。また、緊急事態宣言以降の営業時間短縮、社会的距離の確保、店舗備品の消毒、従業員の健康管理など、感染防止対策を講じながら、お客様及び従業員の安全を最優先に考え取り組んでおります。

営業概況としては、外出自粛要請によって、巣ごもり消費需要が高まり、ウッドデッキやレンガなど庭づくりを使用するガーデン資材や野菜苗、小袋肥料などの家庭菜園関連の商品が好調だったことに加えて木材、塗料などのDIYに関連する商品も好調でした。また、自社開発商品の売上が好調に推移したことに伴い売上総利益は、大きく伸長いたしました。一方で、リフォーム工事などの受注高は、前年の消費税増税の反動減を受け、低調に推移いたしました。EC販売では、感染症拡大防止の観点から、短時間で買物を済ませたいニーズの高まりを受け、ネットで注文して、店舗で受け取りができる「置き置きサービス」の利用が増加し、EC売上が好調に推移いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、紙面主体の広告媒体からデジタル化への転換を進めたことや、緊急事態宣言に伴い、チラシ広告自体を自粛したこと等から、広告宣伝費を中心に減少いたしました。

出店につきましては、パワーを1店舗、ハード&グリーンを2店舗それぞれ開店いたしました。これらにより、当第1四半期末の店舗数は、パワー67店舗、ハード&グリーン1,122店舗、PRO3店舗、アテナ8店舗、合計で1,200店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は、1,118億5百万円(前年同期比115.8%)、営業利益は、124億11百万円(同174.3%)、経常利益は、124億14百万円(同173.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、85億12百万円(同176.0%)となりました。

(商品部門別の状況)

(単位：百万円、%)

部門別	前第1四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
工具・金物・作業用品	15,757	16.3	18,855	16.9	119.7
リフォーム資材・エクステリア用品	13,277	13.7	15,993	14.3	120.5
園芸・農業用品	30,863	32.0	34,735	31.1	112.5
日用品・ペット用品	14,689	15.2	16,949	15.2	115.4
家電・レジャー用品	8,819	9.1	10,393	9.3	117.9
インテリア・家庭用品	7,399	7.7	8,893	7.9	120.2
灯油他	1,598	1.7	1,510	1.3	94.5
ホームセンター部門計	92,404	95.7	107,331	96.0	116.2
その他	1,232	1.3	1,170	1.0	95.0
売上高合計	93,636	97.0	108,502	97.0	115.9
営業収入	2,888	3.0	3,302	3.0	114.3
営業収益	96,524	100.0	111,805	100.0	115.8

(注) 1. 商品別の各構成内容は次のとおりであります。

- 工具・金物・作業用品 (工具、建築金物、ペイント、補修用品、作業衣料等)
- リフォーム資材・エクステリア用品 (建築資材、配管材、木材、住設機器、エクステリア等)
- 園芸・農業用品 (園芸用品、肥料・農薬、農業資材、植物等)
- 日用品・ペット用品 (日用消耗品、ヘルス&ビューティケア、食品、ペット用品等)
- 家電・レジャー用品 (家電、カー用品、レジャー・サイクル用品、文具等)
- インテリア・家庭用品 (内装、家具・収納用品、家庭用品、ダイニング等)

2. 当第1四半期連結累計期間においてホームセンター部門の商品分類を変更いたしました。前年同期比較にあたっては、前第1四半期連結累計期間分を変更後の区分に組替えて表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,567億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億12百万円増加いたしました。主に商品及び製品が41億57百万円減少いたしました。現金及び預金が129億60百万円増加したことによるものであります。固定資産は、1,872億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億80百万円増加いたしました。主に有形固定資産の増加によるものであります。

この結果、総資産は、3,440億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ128億93百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、965億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億24百万円増加いたしました。主に短期借入金85億円減少いたしました。電子記録債務が106億35百万円増加したことによるものであります。固定負債は、578億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億95百万円減少いたしました。主に長期借入金4億48百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,543億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億28百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,896億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億65百万円増加いたしました。主に剰余金の配当が10億46百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益85億12百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、55.1%（前連結会計年度末は55.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年4月28日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想を変更しておりません。当第1四半期連結累計期間の業績は好調に推移いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響について先行き不透明な経済状況を踏まえ、業績予想を据え置いております。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,625	22,586
受取手形及び売掛金	19,821	20,995
商品及び製品	109,119	104,962
原材料及び貯蔵品	512	276
その他	7,106	8,488
貸倒引当金	△534	△544
流動資産合計	145,651	156,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	112,353	112,302
土地	34,355	34,355
リース資産(純額)	3,515	3,552
その他(純額)	8,282	9,514
有形固定資産合計	158,505	159,724
無形固定資産		
	8,043	8,007
投資その他の資産		
投資有価証券	1,322	1,650
繰延税金資産	7,820	8,093
敷金及び保証金	8,218	8,239
その他	1,579	1,557
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	18,939	19,538
固定資産合計	185,489	187,270
資産合計	331,140	344,034

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,012	28,098
電子記録債務	26,454	37,089
短期借入金	8,500	—
1年内返済予定の長期借入金	4,169	4,169
リース債務	1,370	1,361
未払法人税等	3,438	4,336
賞与引当金	1,818	2,897
役員賞与引当金	19	5
店舗閉鎖損失引当金	44	4
ポイント引当金	739	896
災害損失引当金	4	2
その他	16,471	17,706
流動負債合計	91,044	96,568
固定負債		
長期借入金	38,640	38,191
リース債務	2,618	2,659
役員退職慰労引当金	124	124
役員株式給付引当金	152	156
退職給付に係る負債	5,414	5,494
資産除去債務	7,071	7,171
その他	4,083	4,011
固定負債合計	58,105	57,809
負債合計	149,149	154,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,802	18,802
資本剰余金	25,260	25,260
利益剰余金	148,676	156,142
自己株式	△11,239	△11,239
株主資本合計	181,499	188,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	290
繰延ヘッジ損益	27	13
退職給付に係る調整累計額	390	387
その他の包括利益累計額合計	491	690
純資産合計	181,990	189,656
負債純資産合計	331,140	344,034

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	93,636	108,502
売上原価	64,159	73,264
売上総利益	29,476	35,238
営業収入	2,888	3,302
営業総利益	32,365	38,540
販売費及び一般管理費	25,246	26,129
営業利益	7,118	12,411
営業外収益		
受取利息	3	3
為替差益	65	6
その他	75	51
営業外収益合計	143	60
営業外費用		
支払利息	47	37
貸借契約解約損	—	12
埋蔵文化財発掘調査費	30	—
その他	13	7
営業外費用合計	91	57
経常利益	7,171	12,414
特別利益		
受取保険金	5	11
特別利益合計	5	11
特別損失		
固定資産処分損	33	22
災害による損失	9	12
減損損失	—	4
特別損失合計	43	40
税金等調整前四半期純利益	7,134	12,385
法人税、住民税及び事業税	2,489	4,247
法人税等調整額	△191	△374
法人税等合計	2,297	3,872
四半期純利益	4,836	8,512
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,836	8,512

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	4,836	8,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	217
繰延ヘッジ損益	—	△14
退職給付に係る調整額	491	△3
その他の包括利益合計	484	199
四半期包括利益	5,321	8,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,321	8,712
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。